

どんな仕事?

さまざまな映像コンテンツの外国語の音声や文字情報を日本語に翻訳する仕事。訳す際は大きく分けて字幕、吹替、ボイスオーバーの3種類がある。

詳しくは
91
ページより

映像翻訳

何を訳す?

映画、テレビ、CS・BS、DVD、動画配信などの各種映像メディアで見られる、さまざまな映像コンテンツ（例：ドラマ、ドキュメンタリー、スポーツ番組など）を扱う。

プロになるには?

日本語版制作会社や翻訳会社から仕事を依頼されるので、そこのつながりを持つことが必要。翻訳会社だと登録することで仕事が回ってくることも。専門学校で学び、スクールからの紹介などでデビューのきっかけをつかむケースが多い。

出版・映像以外
その他の

詳しくは
131
ページより

エンタメ翻訳



ゲーム、漫画、歌詞、脚本など。エンタメに関わるあれこれを訳す仕事。



メディア・エンタメを訳そう!

出版 & 映像翻訳 完全ガイドブック

世界の本・映画・ドラマ・漫画・ゲームの
翻訳者になる!

出版翻訳編

- ▶ Report 翻訳書ができるまで
- ▶ 翻訳出版市場の最新動向
- ▶ Debut Story & 収入・印税

映像翻訳編

- ▶ Report 字幕ができるまで
- ▶ プロのワークスタイル & 収入・料金
- ▶ ビジネス系映像翻訳

エンタメ翻訳編

- ▶ 仕事を知る
ゲーム翻訳/漫画の翻訳
- ▶ Debut Story & プロ翻訳者インタビュー

出版&映像翻訳 誌上スキルアップ講座

- ・出版翻訳講座
- ・字幕翻訳講座
- ・レジュメの書き方

お役立ち DATA

出版翻訳&映像翻訳が学べる
スクール&コースリスト



英日映像翻訳科の長島祥 講師の記事が掲載

Professional Interview

映像翻訳編



映像翻訳者
長島祥さん
Sachi Nagashima

歌とダンスを言葉に変えて 映像と舞台の訳者として エンタメに関わる

手がけるのは、映像作品の翻訳とミュージカルの訳詞。それぞれ目的も表現のカタチも違うが、「伝えたい」という強い思いは変わらない。元舞台俳優という経験を、台詞づくりを生かして映像ではドキュメンタリーの吹替翻訳を中心に活躍中だ。

東京大学経済学部経営学科卒業。劇団四季で5年間、俳優活動をした後、オリエンタルランド勤務などを経て、2013年に日本映像翻訳アカデミーに入学。修了時のトライアルに合格し、翌14年より映像翻訳者として活動開始。「アニマルプラネット」などドキュメンタリーの吹替を多数手がける。その傍ら、舞台の脚本翻訳やミュージカルの訳詞も行っており、これまでに「DANI GIRL」(脚本翻訳・訳詞)、「フラッシュダンス」(岸谷五朗氏との共同訳詞)など、さまざまなミュージカル作品を担当。日本映像翻訳アカデミー講師、吹替ディレクターも務める。



舞台俳優になって気づいた
翻訳のおもしろさ

「こんな楽しいものがあるんだ！」小学生のとき、劇団四季の無料招待公演を観劇し、たちまちミュージカルの虜になった。その瞬間から「途に『好き』を追いかける人生が始まる。」

中学生になると学校のミュージカル部に入り、高校時代は歌やダンスのレッスンに明け暮れる。そして劇団四季に憧れ、創立メンバーの母校の一つでもある東京大学に進学。在学中は学業とダンスや歌のレッスンに専念し、卒業後にオーディションを受け、狭き門をこじ開けた。

「実は高校時代に何度かオーディションに落ちていて(笑)。初舞台で『あがれの石丸幹二さんと共演したときは、それはもう夢のようでした』」

当時の劇団四季では、海外の作品を上演する場合、所属俳優が英語脚本を日本語に翻訳していた。当時の劇団四季代表、浅利慶太氏の声かけにより、長島さんもブロードウェイミュージカル『WICKED』の翻訳チームに参加。英語のオリジナルの脚本から、日本語の台詞や歌詞が紡ぎ出されていく過程を目にし、「自分もやってみよう」という願望が芽生えた。

その後は役者に専念していたが、もともと制作にも関心があったことから、次第に「翻訳者としてミュージカルに関わる道もある」との考えに傾いていく。入団5年目で劇団を離れると、生の英語と本場の演劇にふれるため、ボランティアピアザを取得してイギリスに1年間弱滞在。そして帰



訳詞・作詞を担当したミュージカル『えんとつ町のプペル』(2021年上演)



「クライアントから指名をいただけるようになったことありますが、エージェントに『できれば吹替を』とアピールもしていました」

一方で、知人を介して脚本翻訳や訳詞も手がけてきた。現在では、映像翻訳と脚本翻訳訳詞の割合は、ほぼ半々。仕事のペースが異なるため、両者をうまく組み合わせ、スケジュールを組んでいる。

ドキュメンタリー(60分)の吹替の場合、作業日数はおおよそ6日間(最大10日間)。最初の3日間で調べ物をしながらしつかり解釈し、丁寧に下訳をつくる。体感的には「費やす時間の6割は調べ物」だ。リサーチにはネットを使うが、あらかじめ近隣の図書館で貸し出し冊数の上限まで参考図書を借り、必要に応じてすぐに調べられるようにしておく。訳す際には、あえて字幕制作支援ソフトのSST-GIを使用。「映像の巻き戻しや早送りをしやすく、一般的なメディアプレイヤーより効率的」だという。

下訳ができたら、2日ほどかけて推敲。その際、読み上げたり、録音して聞いたりしながら、尺合わせをする。役者の経験を生かし、間を取ったり抑揚をつけたりしながら読み上げるため、演じる声優にとって最適な長さに仕上げられるのが強みだ。

さらに半日かけて、裏取りした際の参照元や、意識した箇所の直訳と意訳理由などをまとめた「申し送り」を作成。残りの時間で最終確認と微調整を行い、ワードファイル(指定の台本テンプレート)を使用して納品する。「最終確認の前に申し送りの作業を挟むのは、



©Discovery Communications, LLC

現在、映像翻訳の仕事ではドキュメンタリーの吹替翻訳がメイン。ドキュメンタリーチャンネル「アニマルプラネット」でも吹替を多数担当。写真の「ミーアキャット物語」では主題歌の訳詞を行った。

©Discovery Communications, LLC

役者の経験を 吹替翻訳に生かす

最初の3年間は、どんな映像翻訳の仕事も二つ返事で引き受けた。字幕と吹替の別を問わず、ジャンルはアニメにドラマ、映画、リアリティ、ドキュメンタリー、バラエティまで。経験と実績を積んでいくなか、18年頃から依頼の大半をドキュメンタリーの吹替が占めるようになった。

という意味でも、また、解釈も表現も違う他の受講生の訳文にふれる経験は、自分の翻訳を確立していく上で必要なプロセスだったと思えます。

いったん訳文から離れるためです。より客観的な目で最後の見直しができます。

脚本翻訳については、2週間ほどかけて訳出。ただし、あくまで下訳にすぎず、演出家と話し合いながら、演出家の意向を反映した台詞に仕上げていくという。

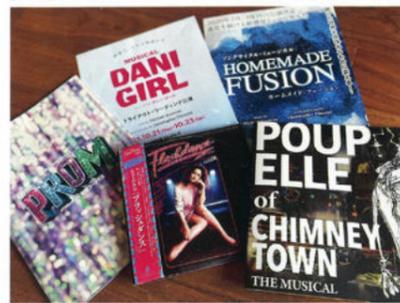
訳詞については、1曲あたり2日で訳し、必ず1日以上あけて見直しをする。映像翻訳と同じ理由からだ。

美しい日本語を求め しつこく“取り組む”

劇団四季時代、浅利氏から授かった「美しい日本語で歌詞をつくりなさい」という教えを、今も大切にしている。その意味は「日本語のアクセントがきれいにメロディに乗って響くような歌詞をつける」ということ。吹替で映像に日本語を乗せ



脚本翻訳・訳詞を担当したミュージカル「DANI GIRL」(2021年上演)



訳詞や脚本翻訳を担当したミュージカル「POUPELLE of CHIMNEY TOWN」のプログラム。翻訳作業をして完了ではなく、稽古場にも通い、演出家やスタッフ、演者とともに歌詞や台詞を作り上げていく。

る際にも、翻訳スタイルで学んだ「言葉へのこだわり」を貫きながら、「美しい日本語」を徹底的に模索する。

「吹替における『美しい日本語』というのは、言葉として正しく、表現としてムダがなく、日本語の豊かな表現の使い分けができていて、リズムが心地いい、と自分なりに定義しています。そんな言葉や表現を、妥協せず追求する翻訳者でありたいと思っています」

そのためのインプットも欠かさない。好んでよく見るNHKのドキュメンタリー番組は、「美しい日本語」に接する格好の教材。新型コロナの影響で劇場に行けなくなったぶん、オンライン配信で舞台や映画を視聴する。音楽もよく聞き、気に入った歌詞は書き留める。

デビュー以来、登山道を駆け上がってきたように感じるが、キャリア8年目の今、自分が何合目にいるのかは見当がつかない。それでも、一つはつきり言えるのは、翻訳には「粘り強さ」が大事だということ。原文の解釈にしろ、リサーチにしろ、日本語の表現にしろ、「しつこく取り組む」ことで原稿が磨かれると感している。

「特にドキュメンタリーの場合、調べれば調べると原文の解釈がクリアになり、訳語の精度も上がります。リサーチは『自分を助けてくれるもの』という感覚です。訳語にしても、びつたり言葉求めてしつこく考えるからこそ、ふとした瞬間に表現がひらめくのだと思います」

翻訳は、絶対の正解が存在しない世界。どれだけ粘り強く調べ、考えても、「もつ」とい訳があるのでは?という不安は尽きない。だが幸いに

として体系化できないかと思っています」

もう一つは、あこがれの翻訳者に少しでも近づくとことだ。「アナと雪の女王」や「塔の上のラプンツェル」を訳した高橋知江さんのように、いつか映画の中の訳詞を手がけてみたい。だからといって、「映像系と舞台系」という両輪スタイルを変えようとは思わない。

「訳詞に必要なのは、作詞に近い創造性。一方、ドキュメンタリーの吹替では、情報を整理しながら言葉を積み上げていく職人的な緻密さが求められます。翻訳の方向性がまったく違います。並行したほうが、バランスが取れて、ストレスが少ないんです」

かつて、舞台俳優としてエンタテインメントの世界に没入していた時代には、ドキュメンタリーを見る機会はありませんでした。それが今では仕事の一つの柱になり、得意ジャンルに「一番驚いているのは、長島さん自身だ」

「もともと動物好きでしたが、たまたまネイ



自宅の仕事部屋。訳語を考えるヒントを求め、オンライン辞書の「連想類語辞典」(https://renso-ruigo.com)をよく使う。また思いついた言葉が実際に使われているかを確認する場合は、コーパス検索サイト「少納言」(https://shonagon.ninjal.ac.jp)を利用する。

も、吹替の世界では「頼もしい味方」が援護してくれる。

「収録では、声優さんや俳優さんがこちらのイメージ以上のものを出してください。よく『台詞に命を吹き込む』と言われるますが、まさにそのとおり。感激しますし、翻訳者にとって、最高の褒美だと思います」

ドキュメンタリーで世界が広がる 夢は映画の訳詞

いま、具体的な目標が二つある。一つは、吹替のやり方を言語化すること。2019年から教える立場になったこともあり、そう考えるようになった。

「どんな日本語なら耳で聞いてわかりやすいのか、どのくらいの情報量が適切か、どこにアクセントを入れると自然に聞こえるのか。その判断や基準は、訳者の感覚や経験値によって変わってくると思うので、ある程度、誰にとっても共通の方法

Career Step



Advice

大事なことは「好きな分野」があること

ひと口に「映像翻訳」と言っても、扱うジャンルは多種多様です。ですので、何か一つ「この分野なら負けない」というものがあるといいですね。私の場合、もともと動物が好きで、今までに動物もののドキュメンタリーを数多くやらせてもらっています。好きな分野、得意な分野であれば、その世界に入っていくやすいですし、どんなに調べても苦になりません。そういう姿勢で訳せば、気持ちのこもった原稿になり、「質」となって表れます。つまり、原稿を読んだ第三者にも伝わるのです。それが評価につながって、次もまた任せてもらえるようになる。数をこなすうちに知識やノウハウも蓄積されて、翻訳の質がいつか高まっていく。私自身の経験からいっても、そんな好循環が生まれる気がしています。

チャイ系のドキュメンタリーの翻訳を受け、その数が次第に増えていった。その中で環境への意識が高まり、知識もかなり身につきました。映像翻訳を通して、多くの方に環境問題について考えていただくお手伝いをしていっているかと思うと、やりがいを感じます。スケジュールが厳しくても「この作品のメッセージを伝えなければ」という使命感に駆られます。そういう意味で、自分自身が変わった気がするし、ドキュメンタリーに出会えて良かったと思っています」

子ども時代の夢は叶ったが、それは一つの通過点。ドキュメンタリーの吹替という新たな出会いを経て、「好き」を追いかける生き方はまだまだ続く。

ドキュメンタリー・脚本・歌詞 翻訳の違い

ドキュメンタリーは情報伝達が第一 訳詞はアクセントやイントネーションに注意

ドキュメンタリーと舞台脚本、訳詞では、翻訳のアプローチがまったく違います。ドキュメンタリーの場合、「情報を正しく視聴者に届けること」が第一の目的ですから、「一般の視聴者にどう聞こえるか、どう受け止められるか」を常に意識しながら、言葉を選びます。仮にキーワードが一般的になじみのない

ものであれば、尺の許す範囲で、原文にない説明を加えたりもします。舞台脚本は原文の持つニュアンスや手触りのようなものを、できるだけ残すようにします。例えば、難解な言葉を使っていたら、難解なまま訳出するわけです。訳詞については、いわゆる「対訳」ではなく、歌ってもらうためのものな

ので、日本語のアクセントやイントネーションに最大限の注意を払います。言葉をメロディに乗せたとき、本来のアクセントやイントネーションとズレてしまうと、聞いていてピンとこないからです。メロディへの言葉の乗せ方を伝えるために、納品時に自分で実際に歌った音声データを送ることもあります。

日英映像翻訳科の修了生 三浦怜美さんの記事が掲載

School Guide

修了生から



「日英映像翻訳科実践コース」修了生

三浦怜美さん

みづらみ
大学卒業後、アメリカ証券機関エージェンツのコンサルタント、在シンガポール日本国大使館在外公館選派員、日系製薬会社シンガポール法人のHR、旅行会社の営業事務として勤務。2020年に日本映像翻訳アカデミーに入学し、日英映像翻訳実践コース修了。2021年12月、トライアルに合格。2022年2月にOJTを終え、すでにプロの映像翻訳者として活躍している。

現役の映像翻訳者である講師からプロとしての心構えやテクニックを学べた

フルタイムで勤務しながらJVT Aで日英映像翻訳を学び、トライアルに合格した三浦怜美さん。オープンスクールに参加した際に、「技術を教えるだけでなく、プロを育てるのが私たちの仕事です」という言葉に感銘を受け入学を決めた。

「授業では、映像翻訳者としての心構え、申し送りの書き方や調べ物の方法などプロのテクニックを学ぶことができました。また、映画監督で脚本家でもある三宅隆太先生の授業で、作品を深く理解しなければよい翻訳はできない、そのためにはどんな意図で台本が作られているかを知ることが大切だと聞いたことが心に残っています」

日英映像翻訳のコースでは、世界各国からリモート受講しているクラスメイトと切磋琢磨しながら学んだ。中でも他の受講生が、課題をどう翻訳したか閲覧できたことがとても勉強になったという。

実は三浦さんは、1度目の修了トライアルでは惜しくも「次点」となり合格できなかった。けれどもこの不合格の経験こそが、後の合格につながった。

「次点ということもあり、翻訳したトライアル課題の一文一文について、このシーンではこの単語を使うと制作者の意図が通じにくいなど詳細なフィードバックをいただきました。そこで自分の弱点がクリアになり、2度目のトライアルに向けて具体的な対策を立てられたと思います」

トライアル合格後のOJTでは、字幕制作ソフトを使ったスポッティングや他の合格者と翻訳の相互チェックも行った。その後、プロデビューを果たし、経験を重ねている。

「日本の魅力が詰まった映像作品を世界へ発信するお手伝いができることに、挑戦とやりがいを感じています。日英翻訳は英日翻訳に比べてハードルが高いと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、日本語ネイティブだからこそ、セリフの行間を読んだり的確なニュアンスを持つ英訳ができると思います。これからもたくさんのお客様に触れ、英語表現を磨いていきたいです」

スクールの注目ポイント

Point1

受講生の約6割がトライアル合格でプロデビュー

せっかく学校に通いスキルを身につけても、仕事がないのでは意味がない。JVT Aでは、英日映像翻訳・日英映像翻訳ともに、実践コースを修了すると同校が実施しているトライアルが受験可能。トライアル合格者は、JVT A併設の翻訳受発注部門「メディア・トランスレーション・センター (MTC)」から必ず仕事が発注され、プロとしてデビューできる。また、プロになった後も、MTCの翻訳ディレクターが映像翻訳者のスキルアップをサポートしていく。

Point2

JVT A独自のシステムでリモート受講も快適

JVT Aでは、すべてのコースをリモートで受講できる。2020年10月より独自に開発したラーニング・マネージメントシステム「JVT A Online」を導入。リモートでより快適に授業を受けられることをメインに構築されており、授業への参加、課題の受け取りや提出、講師やクラスメイトとのコミュニケーションもすべて「JVT A Online」で完結。導入後は「リモート受講がスムーズになった」と受講生からも高い評価を得ている。

Point3

単発の課外講座で弱点を克服!

受講生・修了生を対象として「作品解釈」「調べ物」「スポッティング」など定期的に単発の課外講座を開講。スキルアップをめざしたい人やトライアル合格をめざすが受講している。課外講座を受けたことで、自らの弱点を克服しトライアル合格もすべて「JVT A Online」で完結。導入後は「リモート受講がスムーズになった」と受講生からも高い評価を得ている。

コース紹介

通学・オンライン講座

リモート通学コース

■【日英映像翻訳科】総合コース-I
受講期間 3か月または6か月(140分×16回)
開講月 4月、10月
受講料 155,540円(税込)

■【日英映像翻訳科】総合コース-II
受講期間 3か月または6か月(140分×21回)
開講月 4月、10月
受講料 207,900円(税込)

■【日英映像翻訳科】実践コース
受講期間 3か月または6か月(140分×22回)
開講月 4月、10月
受講料 223,740円(税込)

■【日英映像翻訳科】総合コース
受講期間 6か月(140分×21回)
開講月 4月、10月
受講料 220,000円(税込)

■【日英映像翻訳科】実践コース
受講期間 6か月(140分×21回)
開講月 4月、10月
受講料 231,000円(税込)

■ロサンゼルス校M-1留学コース
受講期間 約6か月
開講月 4月、7月、10月、1月
受講料 6,790ドル(映像翻訳クラス)

通信講座

■【映像翻訳Web講座】ベーシックコース
受講期間 3か月(添削回数:12回)
開講月 毎月
受講料 45,572円(税込)

■【映像翻訳Web講座】プラクティスコース
受講期間 6か月(添削回数:12回)
開講月 毎月
受講料 100,572円(税込)

■【映像翻訳Web講座】アドバンスコース
受講期間 7か月(添削回数:12回)
開講月 毎月
受講料 111,047円(税込)

■【映像翻訳Web講座】プロフェッショナルコース
受講期間 6か月
開講月 毎月
受講料 125,715円(税込)

映像翻訳編

日本映像翻訳アカデミー

現役の映像翻訳者の的確な指導で修了生の約6割がプロデビュー
2020年4月より全ての講義がリモート受講に

<https://www.jvtacademy.com/>
TEL: 03-3517-5002(電話受付: 平日10:00-20:00/土・日曜10:00-17:00)
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-4 共同ビル(日銀前)2F/3F

プロに必要なスキルを網羅講師のほかクラス担当も受講をサポート

1996年設立以来、多くの映像翻訳者を輩出してきた日本映像翻訳アカデミー(JVT A)。海外作品を日本語に訳す英日映像翻訳だけでなく、日英映像翻訳、英文解釈や文法に特化したロジカル・リーディング力強化コースや日本語表現力強化コースなど幅広いコースを開講しているのが特徴だ。

JVT Aでは、プロの映像翻訳者に必要なスキルを「6つの資質」として定めており、「ソース言語解力」「翻訳力」「ターゲット言語応用表現力」「コンテンツ解力」「取材調査力」「ビジネス対応力」をバランスよく伸ばせるようなカリキュラムが組まれている。2020年からすべての授業をリモート受講できるようにしたのもうれし。また、東京校でのリモート通学コースのほか、ロサンゼルス校では、日本からの留学生を受け入れるプログラムもある。アルクと共同開発したeラーニングの通信講座である映像翻訳Web講座もあり、各コース間の編入制度も整っている。

近年、日本映画やアニメ、マンガなど、日本発コンテンツの海外需要が拡大している。こうした日本発のコンテンツを、さまざまなメディアを通じて世界に届ける翻訳スキルを学ぶことができるのが日英映像翻訳だ。「総合コース」と「実践コース」の2つを1年で修了することができる。日本人だけでなく英語ネイティブ、非英語ネイティブの外国人も一緒に学ぶのが、日本語ネイティブは英語表現を、外国人は日本語解力力を磨くことができるのも魅力だ。一方、英日映像翻訳では「総合コース」「実践コース」「実践コース」と1年半かけてプロに必要なスキルやノウハウを学び、トライアル合格をめざす。クラスは平日または週末を選択することができ、日曜集中クラスでは1日2コマを受け、約1年で修了することが可能だ。

実践コースまで修了した受講生は、JVT Aが実施するトライアルを受験。トライアルに合格すると、学校併設のメディア・トランスレーション・センター(MTC)から、必ず翻訳の仕事が発注される。MTCは多くの修了生をプロとして送り出すことを責務とし、翻訳の受発注を行う部門。映画やドラマ、ドキュメンタリーだけにとどまらず、スポーツ映像や企業動画など幅広いジャンルの映像作品を受注している。10名ほど在籍している映像翻訳ディレクターが、本科での授業や修了後のトライアル実施、少人数ゼミ形式のOJT(実務体験訓練)、映像翻訳案件の発注など、受講期間中だけでなく修了後もあらゆる面から受講生をサポートするためのサポートを行っている。JVT A修了生の約6割がプロの映像翻訳者として活躍していることも、なるほどどうなすける体制である。

トライアルに合格すると必ず仕事が発注される

終わることに面談を実施し、各受講生に今後強化すべき点や必要な学習方法を指摘するなど、きめ細かいケアも同校の特徴だ。